

認定心理士認定委員会より

1. 2012年度の資格審査及び資格取得者数について

2012年度は7回の資格認定委員会が行われ、申請のあった3,946件を審査し、3,718件を合格としました。資格取得者は3,689名で、1990年度から認定心理士資格の認定をはじめて以来最多の取得者となりました。これは2007年の認定基準改正に伴う旧基準での移行措置期間が2011年度末で終了し、2012年度初めの審査数が増大した影響によるものと思われる。

2. 住所・氏名等、登録情報の変更、認定心理士証 (IDカード) の再発行について

申請時に登録された住所宛に、日本心理学会主催の公開シンポジウム等の開催のお知らせを郵送しております。

資格取得後に住所・氏名などに変更があった場合は、氏名・認定番号・新旧の変更点をお書き添えのうえ、事務局までE-Mail, FAX, または郵送にてご連絡ください (氏名の変更の場合は必ずローマ字読みを書き添えてください)。

認定心理士証 (IDカード) の再発行を希望する場合は、手数料として1,000円の郵便定額小為替、新しいIDカードに使う写真 (縦3cm×横2.5cm)、現在持っているIDカードを、名前・認定番号・新旧の変更点をお書き添えのうえ、日本心理学会の認定委員会宛にお送りください。

3. 認定心理士向けメール配信サービスについて

認定心理士取得者を対象に、日本心理学会情報のE-mailでの配信サービスをしております。日本心理学会のホームページ更新情報や行事の情報をいち早くお知らせしております。原則として、申請時に履歴書に記載されたE-mailアドレスにお送りしますが、申請時にE-mailアドレスをご登録いただいていない方はぜひご登録ください。万一、配信を希望されない方は、認定番号をお書き添えのうえ、E-mailまたはFaxにて日本心理学会までお知らせください。

4. 日本心理学会会員の方の資格認定の優遇措置について

59号でお知らせいたしましたとおり、日本心理学会の会員で、

「申請時現在まで日本心理学会に5年以上連続して正会員として在籍し、本務校において心理学関連科目を担当する大学等 (四年制大学、短期大学、高等専門学校、専門学校) の教員」の方は、通常の資格申請とは異なり、担当している心理学関係の授業を届けるだけで、「資格審査を受け、資格認定を受けることができます。しかも、通常の申請にかかる審査料10,000円が免除されます (認定料30,000円は必要です)。

昨年多くの方にご申請いただきました中で、非常勤で講義を担当している方、現職でない方からの申請もいただいております。認定委員会にて認められている例も出てきております。

ここで改めてお知らせし、まだ資格を取得していない皆様にもご検討を願いたい次第です。ご希望の方は、資格申請の手引き (C; 日本心理学会会員の優遇措置希望者用) を日本心理学会のホームページより入手して、所定の書類をお送りください。

(事務局認定心理士資格認定委員会担当)

編集後記

心理学は女性の割合が多い分野といえるでしょう。今回の特集である子育ての問題に関心を持たれた方も多いかと思います。ご執筆いただいた先生方は、非常に鋭く、そして、多様な視点から、この問題に切り込んでくださいました。心から感謝いたします。心理学が社会の実際の問題に挑戦し、提言していくことは、今の世の中で、ますます重要となっています。心理学の社会における役割にも思いをはせたいものです。(近藤清美)

編集委員 (五十音順)

編集委員長	岡 隆	日本大学
副委員長	宮本 聡介	明治学院大学
委員	大神 優子	和洋女子大学
	小田 浩一	東京女子大学
	近藤 清美	北海道医療大学
	久保南海子	愛知淑徳大学
	三宮真智子	大阪大学
	杉浦 義典	広島大学
	杉若 弘子	同志社大学
	時津 裕子	徳山大学
	林 創	神戸大学
	森岡 正芳	神戸大学
担当常務理事	阿部 純一	北海道大学

心理学ワールド [62号] 2013年7月15日発行

年4回発行 (1月, 4月, 7月, 10月)

発行人—佐藤 隆夫

編集・発行—公益社団法人 日本心理学会 〒113-0033 東京都文京区本郷5-23-13 田村ビル TEL 03-3814-3953

表紙デザイン—虎尾 隆 印刷・製本—銀河

制作—(株)新曜社